

平成27年度有責事故件数・損害額の達成状況、及び、平成28年度抑止目標

	27年度 有責事故件数	28年度 事故損害額	事 故 内 訳						チェック (何が不十分だったか)	アクション (改善すべきこと)	28年度 有責事故 抑止目標	29年度 損害額 抑止目標
			バック	接触衝突	追突	交差点	人・自転	その他				
1課	14	735,170	5	4		2	2	1	あせりが1番の原因であり、後方・周囲の確認不足	なるべくバックしないで前方で方向転換する。バックする時は下車して確認	8	650,000
2課	9	453,710	4	5					バック・細い路地での事故が多い。停止して再発進時、注意不足	初めての所は慌てない。一呼吸おいて危険な場所は、確認してから！	8	650,000
3課	9	2,833,429	2	1		1	3	2	防衛運転、「かもしれない」「もし・・・」の気持ちが足りない	自己管理をしっかりして、絶対事故を起こさない強い気持ちを持つ。一つ一つの運転を確認してから	8	650,000
4課	10	432,535	3	5			1	1	漫然運転になっている。大丈夫だろうと思って運転していたのでは！	確認は、必ず目で行う！ 「かもしれない」「もしかして」を頭に入れておく	8	650,000
5課	8	833,051	4	2	2				前方不注意、わき見運転	プロドライバーとしては、あってはならない事故、運転中は集中して！	8	650,000
6課	6	281,647	2	4					ちょっとしたバックが接触事故に	不注意が重大事故に！運転に集中！	8	650,000
7課	11	2,564,400	3	4	2			2	ちょっとしたわき見運転が、莫大な損害事故に	わき見、追突、バック事故を皆無にする心がけを！	8	650,000
8課	24	1,092,245	10	5		1	4	4	大半がバックを占め、殆どが後方確認不足（したつもり）で、お客様降車後の方向転換時が多かった。接触は、慣れや漫然での危険予知をしていれば避けられたものが多い	バック：バック運転は出来るだけ避ける。お客様降車後の方向転換も、次を急がず一呼吸おいて下車確認 接触：「だろう」ではなく「かもしれない」運転への切替徹底。止まる所で確実に止まり、二段階停止を心掛ける。	13	900,000
9課	17	947,473	9	5		1		2	大半がバック事故・自損事故であり、緊張感の欠如が原因	安全確認の徹底 バック時は不安な時は下車して確認	8	650,000
軽貨物											3	100,000
その他	2	56,227	2								0	0
全体	110	10,229,887	44	35	4	5	10	12	普段気にもせず、運転していたら、事後になった「漫然運転」が原因	漫然運転撲滅！ バック、接触事故半減させよう！	80	6,200,000